



平成28年7月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年12月14日

上場取引所 東

上場会社名 総合商研株式会社

コード番号 7850 URL <http://www.shouken.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長

(氏名) 加藤 優

問合せ先責任者 (役職名) 企画管理本部部长

(氏名) 太田 健一

TEL 011-780-5677

四半期報告書提出予定日 平成27年12月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年7月期第1四半期の連結業績(平成27年8月1日～平成27年10月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年7月期第1四半期	4,557	1.3	△369	—	△362	—	△253	—
27年7月期第1四半期	4,499	14.8	△382	—	△373	—	△257	—

(注)包括利益 28年7月期第1四半期 △297百万円 (—%) 27年7月期第1四半期 △231百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年7月期第1四半期	△84.38	—
27年7月期第1四半期	△85.63	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年7月期第1四半期	14,686	1,789	12.2
27年7月期	8,112	2,116	26.0

(参考)自己資本 28年7月期第1四半期 1,785百万円 27年7月期 2,112百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年7月期	—	10.00	—	10.00	20.00
28年7月期	—	—	—	—	—
28年7月期(予想)	—	10.00	—	10.00	20.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年7月期の連結業績予想(平成27年8月1日～平成28年7月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,000	2.0	180	133.8	200	131.9	140	241.4	46.63

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年7月期1Q	3,060,110 株	27年7月期	3,060,110 株
② 期末自己株式数	28年7月期1Q	57,956 株	27年7月期	57,956 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年7月期1Q	3,002,154 株	27年7月期1Q	3,005,126 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済・金融政策等の効果が期待に届かず、7-9月期の個人消費は名目では増加となったものの、10月の実質消費支出は前年比△2.4%と大きく減少いたしました。また、中国を始めとするアジア新興国等の景気の下振れにより、我が国の景気が下押しされる懸念もあり、依然先行き不透明な状況にあります。

当社グループは広告業界及び印刷業界の両分野にまたがり、幅広く活動をしております。広告業界ではフリーペーパーや店内POP、イベント用展示・映像を中心としたセールスプロモーション（販売促進）分野が、わずかながら拡大を見せております。一方の印刷業界では、紙媒体の新聞・折込・雑誌の減少に伴って印刷需要も縮小する状況が続いております。

このような環境のもと、当社グループは減少するチラシ受注から軸足を移すべく、企画力を活かした提案営業を進め、北海道新幹線開業関連事業の受託や自治体の地方創生推進支援等、よりコンサルティング色の強い受注獲得に注力してまいりました。また、年々拡大する年賀状印刷の受注に向けて、設備投資・システム開発投資等、生産体制の強化を行いました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、4,557百万円（前年同四半期比58百万円増）となりました。また、営業損失は、369百万円（前年同四半期の営業損失は382百万円）、経常損失は362百万円（前年同四半期の経常損失は373百万円）となり、親会社株主に帰属する四半期純損失は、253百万円（前年同四半期の親会社株主に帰属する四半期純損失は257百万円）となりました。

なお、当社グループの利益は、第1四半期連結会計期間は年賀状印刷の資材・販売促進費等の先行支出により低下、第2四半期連結会計期間は年賀状印刷の集中及び商業印刷の年末商戦の折込広告の大量受注により売上が拡大することにより増加、第3四半期連結会計期間・第4四半期連結会計期間は年賀状印刷事業は固定費のみが発生することにより、売上高に対する経費割合が高くなり利益が低下するという季節的変動があります。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

(商業印刷事業)

商業印刷事業においては、イベント企画や地方自治体等の行政関連の受注が増加傾向にあるものの、消費増税特需効果の反動による店内装飾需要の減少及び主要顧客の広告予算縮小等により、当事業の売上高は2,410百万円（前年同四半期比153百万円減）となりました。営業利益につきましては、伊勢原第二工場の閉鎖等に関連する経費増加及び外注費の増加により、営業利益は22百万円（前年同四半期比95百万円減）となりました。

(年賀状印刷事業)

年賀状印刷事業においては、早期受注の取り込みが好調に推移しており、年賀状販売に関連するカタログ・資材等の受注拡大もあり、当事業の売上高は2,006百万円（前年同四半期比244百万円増）となりました。また、売上増加に伴い営業損失は281百万円（前年同四半期の営業損失は398百万円）と損失幅が縮小いたしました。

(ふりっば一事業)

ふりっば一事業におきましては、地域新聞「ふりっば一」の発刊とともに、その営業力を生かした行政イベントへの参画等営業の幅を広げる一方で、当期において直接的な受注増加へと繋がらず、当事業の売上高は115百万円（前年同四半期比35百万円減）、営業損失は17百万円（前年同四半期の営業損失は9百万円）となりました。

(その他)

その他においては、北海道内の2店舗のプリントハウスにおいて、DPE、オンデマンドプリント等の商品・サービスの提供を行ってまいりました結果、売上高は26百万円（前年同四半期比2百万円増）、営業損失は5百万円（前年同四半期の営業損失は8百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は14,686百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,573百万円増加しました。これは主に、年賀状印刷事業の売上に係る受取手形及び売掛金が2,343百万円、同事業に伴う年賀はがき等の原材料及び貯蔵品が2,233百万円増加したこと等によるものであります。

負債合計は12,897百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,901百万円増加しました。これは主に、年賀状印刷事業に係る材料仕入のための短期借入金が4,035百万円増加したこと、及び同事業に係る材料仕入のための支払手形及び買掛金が1,399百万円増加したこと等によるものであります。

純資産合計は1,789百万円となり、前連結会計年度末に比べ327百万円減少しました。これは主に利益剰余金が283百万円減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年7月期の業績予想につきましては、平成27年9月18日付「平成27年7月期決算短信〔日本基準〕(連結)」にて公表いたしました業績予想から変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び
「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)
等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差
額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更
いたしました。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の
確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させ
る方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の
変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度につい
ては、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び
事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時
点から将来にわたって適用しております。

なお、当第1四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額ははありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年7月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,272,359	1,718,400
受取手形及び売掛金	1,445,144	3,789,098
商品及び製品	52,302	52,072
仕掛品	26,439	9,268
原材料及び貯蔵品	493,953	2,727,495
その他	133,386	1,419,614
貸倒引当金	△16,357	△19,817
流動資産合計	3,407,228	9,696,132
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	992,018	1,006,969
土地	1,163,579	1,163,579
その他(純額)	1,095,028	1,326,170
有形固定資産合計	3,250,626	3,496,719
無形固定資産		
その他	213,693	289,746
無形固定資産合計	213,693	289,746
投資その他の資産		
投資有価証券	734,945	686,150
関係会社株式	40,000	40,000
その他	538,640	542,625
貸倒引当金	△72,231	△70,515
投資その他の資産合計	1,241,353	1,198,259
固定資産合計	4,705,673	4,984,725
繰延資産	-	5,601
資産合計	8,112,902	14,686,459

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年7月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年10月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,114,600	2,513,976
短期借入金	998,577	5,034,358
未払法人税等	18,137	2,369
賞与引当金	13,576	41,094
返品調整引当金	-	25,773
その他	516,691	1,227,584
流動負債合計	2,661,582	8,845,156
固定負債		
社債	-	600,000
長期借入金	2,945,806	3,039,320
資産除去債務	8,520	8,520
その他	380,371	404,348
固定負債合計	3,334,697	4,052,188
負債合計	5,996,280	12,897,344
純資産の部		
株主資本		
資本金	411,920	411,920
資本剰余金	453,546	453,546
利益剰余金	972,979	689,647
自己株式	△19,792	△19,792
株主資本合計	1,818,654	1,535,322
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	293,995	250,077
その他の包括利益累計額合計	293,995	250,077
非支配株主持分	3,971	3,715
純資産合計	2,116,622	1,789,115
負債純資産合計	8,112,902	14,686,459

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年8月1日 至平成26年10月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年8月1日 至平成27年10月31日)
売上高	4,499,765	4,557,940
売上原価	3,758,568	3,766,833
売上総利益	741,196	791,106
販売費及び一般管理費		
運賃	184,043	236,350
給料及び手当	378,780	369,255
貸倒引当金繰入額	498	1,932
賞与引当金繰入額	22,881	21,767
その他	537,430	531,442
販売費及び一般管理費合計	1,123,634	1,160,748
営業損失(△)	△382,437	△369,642
営業外収益		
受取利息	236	283
受取配当金	250	130
受取賃貸料	4,361	4,237
作業くず売却益	4,424	3,614
貸倒引当金戻入額	1,264	188
受取手数料	8,347	9,131
その他	3,255	2,445
営業外収益合計	22,139	20,031
営業外費用		
支払利息	13,206	12,633
持分法による投資損失	407	-
その他	-	512
営業外費用合計	13,613	13,145
経常損失(△)	△373,911	△362,756
特別損失		
固定資産除却損	1,426	50
関係会社株式売却損	1,275	-
設備移設費用	-	7,917
特別損失合計	2,702	7,967
税金等調整前四半期純損失(△)	△376,613	△370,723
法人税、住民税及び事業税	1,120	1,133
法人税等調整額	△120,180	△118,289
法人税等合計	△119,060	△117,156
四半期純損失(△)	△257,552	△253,567
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△228	△256
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△257,324	△253,311

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年8月1日 至平成26年10月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年8月1日 至平成27年10月31日)
四半期純損失(△)	△257,552	△253,567
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	26,227	△43,918
その他の包括利益合計	26,227	△43,918
四半期包括利益	△231,324	△297,485
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△231,096	△297,229
非支配株主に係る四半期包括利益	△228	△256

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成26年8月1日 至 平成26年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損 益計算書計上 額(注3)
	商業印刷 事業	年賀状印刷 事業	ふりっぱー 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	2,563,880	1,761,733	150,527	4,476,141	23,623	4,499,765	—	4,499,765
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	16,566	56	16,270	32,894	1,081	33,975	△33,975	—
計	2,580,447	1,761,790	166,797	4,509,035	24,705	4,533,741	△33,975	4,499,765
セグメント利益 又は損失(△)	117,961	△398,837	△9,239	△290,114	△8,425	△298,539	△83,897	△382,437

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、プリントハウス事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△83,897千円には、セグメント間取引消去1,088千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△84,985千円が含まれております。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 平成27年8月1日 至 平成27年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損 益計算書計上 額(注3)
	商業印刷 事業	年賀状印刷 事業	ふりっぱー 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	2,410,027	2,006,020	115,363	4,531,411	26,528	4,557,940	—	4,557,940
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	18,338	79	4,773	23,192	1,080	24,272	△24,272	—
計	2,428,366	2,006,100	120,137	4,554,603	27,609	4,582,212	△24,272	4,557,940
セグメント利益 又は損失(△)	22,518	△281,886	△17,449	△276,817	△5,122	△281,939	△87,702	△369,642

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、プリントハウス事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△87,702千円には、セグメント間取引消去3,418千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△91,121千円が含まれております。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。